

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	流山市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例 流山市指定介護予防支援の事業の人員及び運営並びに指定介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
担当課	介護支援課

① 市民参加の方法の選択について
<p>専門性の高い事業であることから審議会での意見聴取、利用者である一般市民からのパブリックコメントの実施は評価する。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な判断を求めするために審議会を活用したことも理解できる、また、広く市民の意見を聞くためにパブリックコメントを実施したことも妥当であるが、施設利用者へのアンケートなど、さらに有効な市民参加の方法を検討すべきではなかったか。 ・本事業は国の省令が基準にあり、且つ、極めて専門性の高い内容であることから、審議会およびパブリックコメントの方法を選択したことは妥当と考える。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について
<p>パブリックコメント募集の告知から1か月の期間実施し、また、審議会の開催回数も多く、スケジュールは概ね妥当であったと評価する。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流山独自の体制を整えるためには、専門的な検討を重ねる必要があるように思えるが、審議会は比較的短期間に終わっている。形式的なスケジュールをこなしただけのようで、市民の意見を聞く工夫がもう少し必要だったのではないか。 ・議会上程の期限制約に合わせた手続き消化のスケジュールの感が否めない。手続面の形式は充たしているが、短期間の制約を前提としながらも市民参加の効果に配慮した集中的なスケジュールがなされても良かったのではないか。 ・意見聴取の準備等を考えれば、パブリックコメントの告知期間は募集スタートの少なくとも1ヶ月程度前にすべきではないか。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について
<p>広範囲な内容を伴う条例制定に関する市民への情報提供の仕方に工夫や配慮が不足している。市民に対する情報提供が行政用語や表現であるため、一般市民の理解を得るための仕組みが不足と感じる。</p> <p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この案件の名称は、非常に長くわかりにくい。また、一般市民が、こうした多くの資料を読み、また、行政用語を多く含む条例案を理解することは難しいため、やさしく噛み砕いたパンフレットのようなものを作成する必要がある。 ・パブリックコメントを求める際に、条例の内容をきちんと示せたかどうか検討する価値がある。 ・パブリックコメントの実施に関し、従来のHPや広報紙だけにとどまらず、福祉会館などの資料を設置したことは評価する。ただし、もう少し踏み込んで、実際の対象である施設から利用者へ、パブリックコメント実施の周知があればよいと考える。

④ 改善点について
<p>＜各委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は国の省令が基準にあり、且つ、極めて専門性の高い内容であることから、審議会およびパブリックコメントの方法を選択したことは妥当と評価する。 ・この条例は、地域包括支援センターの職員の定数についての条例制定であるが、その判断根拠やデータ等を市民に示さないと市民が意見をだすことはできないのではないか。 ・専門性の高い事業であることは明白であるが、実際にパブリックコメントが4件も寄せられた。パブリックコメント実施の告知をHPや広報紙、福祉会館などの従来の方法ではなく、もっと幅広く、実際の利用者に周知していたらもっと件数は増えていたのではないか。 ・パブリックコメントの事業概要などの情報提供に際しては、行政用語を市民向けに分かりやすい表現や文言に翻訳し、伝え市民の理解を深め意見が出やすい環境づくりを検討されたい。 ・急を要するスケジュールだった事が残念であった。

⑤ 当該事業の評価について			
A	(B)	C	D